

第1次 那賀町地域福祉活動計画 1年目を振り返る



地域福祉活動計画とは、那賀町が策定する「地域福祉計画」と並行して、すべての人が参画・協働して取り組む実践的な活動・行動計画です。「誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり」を目指して、地域住民や社会福祉関係者がお互いに協力して地域の福祉課題の解決に取り組んでいきます（5ヶ年計画）。

鷲敷地区の取り組み

支えあい ⇒ 西部おたすけ隊が活動中。独居高齢者の生活面での支援が充実してきた。以外でも生活支援団体創にむけて地域で話し合っていく。

つながり ⇒ 防災研修（自主防災会対象）を実施。R5年度は防災訓練実施を目指す。老人クラブの見守り活動も活発に。声掛けや交流を通して会員の増加を目指す。

つどいの場の充実・健康づくり ⇒ いき100体操継続により、介護予防に加え近隣住民同士のつながり作りになった。フレイル予防と合わせて参加者の増加を目指す。

人材育成 ⇒ フレイルサポーター7名増加。R5年度はフレイル啓発を通じた仲間づくりを目指す。



相生地区の取り組み

つながり強化 ⇒ フレイルチェックやインボディ測定などを通して交流の場作り推進。地域活動やボランティア活動の集まりも戻ってきている。多世代交流や情報共有の工夫が必要。

地域力向上 ⇒ 防災研修（延野地域自主防災会対象）を実施。他地域へも展開を拡大予定。防災士の育成推進や地域の人材発掘にも注力する。

素敵な農村を次世代に ⇒ シルバーやボランティアによる環境維持・整備を実施。学童・生徒の農林業体験や農作物利用を積極的に支援していく。

生活支援・支えあい ⇒ 延野おたすけ隊やご近助サポーターが活躍中。延野地域以外でも必要に応じておたすけ隊立ち上げを進める。



上那賀地区の取り組み

見守り・配食 ⇒ R4年度上那賀フレイルサポーター4名増加。R5年度はサポーターを10名に増やす。配食は月1回から今後2回の実施を目指す。

担い手づくり ⇒ 多様なニーズへ対応できるように、シルバー人材センター会員の増強を図る。

支えあい ⇒ 上那賀おたすけ隊が発足し、草刈りや剪定、送迎などにも対応できるようになった。座談会開催を通して、活動の継続・支援内容の充実を図る。

移動手段 ⇒ おたすけ隊で福祉有償運動運転者講習を受講し、移動支援ができるようになった。



木沢地区の取り組み

防災・災害への備え ⇒ 防災研修（自主防災会対象）を実施。地域住民で避難所（木沢小学校）を清掃。R5年度は木沢地域一斉避難訓練の実施にむけて検討。

地域の支えあい ⇒ 木沢おたすけ隊活動の周知が広がった（ゴミ出し・草刈り・出役等）。課題に応じた新たな活動の創出・会員増強・活動の定着を図っていく。

健康・つどいの場の維持 ⇒ いき100会場（4ヶ所）にてサロン活動も実施。ペタンクや料理教室を開催。男性の社会参加の場作りにも力を入れたい。

移動手段 ⇒ ボランティアタクシーによる外出支援を継続。利用会員・運転手登録の増強を図りたい。おたすけ隊でも通院・買い物支援を検討。



木頭地区の取り組み

交流・人と人のつながり ⇒ ボランティアや集落支援員による活動を中心に進行中。R5年度はイベント等の実施により若年齢層のつながり作り充実を図る。

移動・買い物 ⇒ おたすけ隊（チームあかいも）による移動支援がスタート。更に2団体（出原・西宇）がR5年度立ち上げ予定。移送だけでなく、つどいの場への参加強化にもつなげる。

支えあい・つどいの場の充実 ⇒ いき100会場が新たに2か所スタート。地域座談会の開催を望む声もあり、R5年度の実施を予定。

防災 ⇒ コロナ感染の不安もあり、進めることができなかった。R5年度は防災訓練や研修を推進する。

